

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《公園緑地施設整備事業》					担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系	担当課	みどり公園課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	公園整備係			
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		4 市民と協働による公園・緑地・緑道の整備と管理を進める				
		副目的	27-3,5								
	予算区分	款	8	項	4	目	5	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	小牧市緑の基本計画、小牧市都市計画マスタープラン									
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供する。									
	内容 (手段)	<p>実施設計に先立ち、整備予定の各公園ごとに地域市民参加によるワークショップを開催し、公園整備後の維持管理や安全対策についての地域ニーズと小牧市緑の基本計画を反映させた地域密着型の公園整備を進めます。</p> <p>平成22年度は、岩崎原中央公園の用地調査を行った。 平成23年度は、児童遊園5ヶ所の整備と岩崎山公園の園路整備を実施した。 (老朽化が進んだ市内の児童遊園(83ヶ所)の施設改修を計画的に進める。) 平成24年度は、児童遊園5ヶ所の施設改修、北外山中央公園の整備、岩崎山公園の園路を整備し、南外山公園の実施設計、ワークショップを実施した。</p> <p>【H24直接経費内訳】 役務費 (513千円) 委託費 (21,263千円) 工事費 (115,482千円) 用地費 (84,765千円) 負担金 (1,092千円)</p> <p>【H25直接経費内訳】 役務費 (492千円) 委託費 (36,620千円) 工事費 (210,600千円) 用地費 (211,700千円) 負担金 (3,294千円)</p> <p>平成25年度は、小牧南区画整理内の南外山公園整備工事と岩崎山前区画整理内の岩崎山公園の法面整備工事それに岩崎原中央公園を整備予定です。 また、市民四季の森の駐車場拡充整備や小針公園拡幅整備を予定しています。</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	13,144	61,024	223,115	462,706	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.90	0.90
			人件費	千円	3,731	3,731	4,797	4,797
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	16,875	64,755	227,912	467,503
対前年比		%		383.7	351.9	205.1		
財源	一般財源		千円	16,875	64,755	176,712	365,403	
	国・県支出金		千円	0	0	51,200	94,600	
	その他財源		千円	0	0	0	7,500	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	都市公園新設箇所	箇所	目標		—	—	1
実績				—	—	1	
児童遊園改修箇所	箇所	目標		—	5	5	10
		実績		—	5	5	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			都市公園の箇所数 (緑地・緑道を含む)	箇所	目標	103	103
				実績	103	103	104
				目標			
				実績			

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	平成24年度は、児童遊園5ヶ所と北外山中央公園、岩崎原中央公園、岩崎山公園をそれぞれ計画通り事業を進めました。 また、南外山公園のワークショップを実施し、地元ニーズを反映できた。	
	事業実施における課題	みんなで考えた公園計画が維持管理体制や安全対策等を議論していくと”高木は不要”、”トイレは不要”となり、魅力ある公園計画とはならない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	市内に公園が適正に配置することができず、「コマキ緑の+α計画」を達成できない。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 公園建設の地元要望を採択する条件等を明確にする。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	小牧市の一人当たりの都市公園面積は県内でも高いほうではないが、市民の公園設置要望が多く、緑の基本計画を目標にして引き続き公園整備を進める。	
	26年度以降の改善案	みどりに親しむことができ、安らぎの場としての公園から市街地のオープンスペースとしての公園まで果たす役割を数値化することで、公園整備の水準を一定以上にする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。